

送付してもらいたい。

(小平・村山・大和衛生組合)

⇒資料作成に努め、早い段階で送付できるようにしたい。

- ・仕様であるが、仕様の空欄を地域連絡協議会で埋めていくやり方もあると思う。同じ事務の進め方ではなく、他の第三者や委員が見た時に、組合が会議に臨む姿勢を見せていく必要があると思う。その時期その時期に仕様書が埋まっていくような見せ方も、月1回の地域連絡協議会では必要だと考えている。

(小平・村山・大和衛生組合)

⇒詳細については、機械の設計時を予定しているが、排気口の位置や排風機の容量は提案できると考えており、今後は、工夫し配慮させていただきたい。

- ・地域連絡協議会の要望についてはまとまっているのか。

(小平・村山・大和衛生組合)

⇒確認させていただく。

- ・3月開催の街づくり懇談会において、容器包装プラスチック及びペットボトルについて、「現在の民間委託で問題ないのでは」との質問があった。当日の回答では、「民間委託先の自治体の了解が得られる将来的な約束がない」と説明したが、これでは不十分であると考えている。将来的な約束の担保を示すために、「現在の容器包装プラスチックの民間委託は、武蔵村山市から、平成30年度末までと言われている」と回答させていただきたい。当市では、「民間委託は、あくまで施設稼働までの暫定的な措置である」と市民に繰り返し周知しており、具体的な期限を示して、回答することとしたい。

⇒(武蔵村山市)

- ・新施設が稼働するまでの暫定的な対応として、30年度末までという表現でよろしいかと思う。
- ・当市の認識では、民間委託については、施設が完成した時までと考えている。そのため、完了が遅れた場合、30年度末以降の委託も認識としてあるが、武蔵村山市から30年度末と示されており、それより後ろに期限を延ばすことはないものである。

(2) その他

- ・小平・村山・大和衛生組合新ごみ焼却施設の整備に係る懇談会について、組織市(小平市、東大和市及び武蔵村山市)の在住者3名(各市につき1名)の公募委員が決定した。新たに平成29年5月30日(火)開催の第6回懇談会から参加していただくこととなったので報告する。

6 まとめ

(1) 3市共同資源物処理施設整備地域連絡協議会について

- ・次回の協議会であるが、前半は、(仮称)3市共同資源物処理施設整備事業スケジュールの確認、3月の施設見学会の報告、施設建設に関する協議(脱臭排気口の方向)、後半は、そもそも論について、山崎専任者からの協議事項に関する対応について行う。